

令和7年度愛媛県地域おこし協力隊初任者研修会 開催要領

1. 目 的

地域おこし協力隊として任期満了及びその先の定住をはかるにあたり、着任前に想像していた活動や生活などとのギャップや、小さなわだかまりなどから生まれる不安感・不信感といったものは非常に大きな障壁となるものであり、活動初期の段階で、地域おこし協力隊として行政組織の中で活動することの意義や立場の理解、地域の中での暮らし方やコミュニケーションの取り方のコツなどを意識しておくことは、充実した活動に取り組むことや、その後の定住に向けて非常に重要となる。

このため、地域おこし協力隊としての活動を円滑にスタートするためのポイントを、現在活動している協力隊や協力隊 OB/OG の経験から学び、また、同時期に活動を開始した協力隊同士での繋がりをつくり、情報交換・交流することで、今後の協力隊活動をより充実したものとして、任期満了及びその先の定住へとつなげていくことを目的とした初任者研修会を実施する。

2. 主 催

愛媛県

3. 運 営

一般社団法人えひめ暮らしネットワーク(県内地域おこし協力隊OB・OG団体)

4. 開 催

日 時: 令和7年6月12日(木) 13:00-16:30

会 場: 東温アートヴィレッジセンター(アトリエ NEST)

(東温市見奈良 1125 レスパシティ/クールス・モール 2F)

5. 対象者

(1) 愛媛県内で活動する現役の地域おこし協力隊員(着任後1年目の隊員)

(2) 地域おこし協力隊を委嘱している市町の職員

6. 定 員

50 名

7. 内 容

時 間	内 容
12:30-13:00	開場・受付
13:00-13:10	開会 ・主催者あいさつ(愛媛県地域政策課) ・オリエンテーション
13:10-13:40	【講義】地域おこし協力隊制度の基礎的知識 講師: 鍋島 悠弥 氏 (一社)えひめ暮らしネットワーク副代表 内容: 地域おこし協力隊制度の基礎的知識、愛媛県における地域おこし協力隊の状況、協力隊活動1年目における留意点等を学ぶ。
13:40-14:30	【事例紹介】先輩隊員からの活動事例発表と質疑応答 講師: 中村佑太氏 大洲市地域おこし協力隊(2年目) 内容: ①協力隊初年度における活動の始め方、地域との関係づくりやそこからの展開、現在の悩みや展望等を、先輩隊員から等身大の姿で紹介。 ②参加者からの質疑応答を実施し、事例発表からの学ぶべきポイントを深掘する。

14:30-14:50	休憩
14:50-15:50	【自己紹介】 隊員同士のつながりづくり① 内容:参加者同士(同期)や、同じミッションに取り組む仲間とのつながりづくり、ビジネスパートナーづくりをしておくことで、有意義な協力隊活動を送れるような交流のきっかけとして、参加者同士の自己紹介を実施。
15:50-16:20	【名刺交換】 隊員同士のつながりづくり② 内容:研修室内で自由に交流。
16:20-16:30	おわりに

8. 講師及び進行

【講師】中村 佑太 氏(大洲市地域おこし協力隊 2 年目)

福岡県出身。2024 年 1 月より大洲市地域おこし協力隊として活動。自然栽培に魅せられたことをきっかけに、大洲への移住を決意。地元農家と連携しながら、タコス屋として地元野菜を活かした出店活動を展開するほか、竹の活用やトウモロコシの栽培などにも挑戦中。持続可能な農業と食を軸に地域の可能性を広げる取り組みを行っている。

【講師・進行】鍋島 悠弥 氏(一般社団法人えひめ暮らしネットワーク副代表)

大阪府出身。2012 年 4 月から 2015 年 3 月まで今治市地域おこし協力隊(上浦町)として活動。任期終了後は、定住した集落における自治組織の役職に就き、農村体験を提供する簡易宿所「お宿さかりば」やレモンの無農薬栽培を中心とした「さかりば農園」を開業するなど、多様な生業を持ちながら暮らしをおくる。2021 年 6 月より総務省地域おこし協力隊サポートデスク専門相談員に就任し、全国各地の自治体や隊員からの相談対応に従事するほか、2023 年より総務省地域力創造アドバイザー、総務省地域おこし協力隊アドバイザーとしても活躍中。

【解説・進行】藤岡 慶太 氏(一般社団法人えひめ暮らしネットワーク参事)

松山市出身。2017 年 4 月から 2020 年 3 月まで東温市地域おこし協力隊として活動。多世代交流拠点施設の運営や情報発信、地域活性を目的とした中山間でのイベントの企画等を行う。任期後は、コーヒーと古本のお店「駅と珈琲」を営む傍ら、多世代交流拠点「横河原ぷらっと HOME」の運営代表、東温市地域教育プロデューサーほか、東温市を拠点に複数の活動を行っている。